



2月県議会開会

躍進千里…勢い盛んなことを意味する「虎は千里往って千里還る」にちなみ

2月17日に開会した県議会に新年度予算などが提出されました。一般会計当初予算の歳出は、人件費(31億円減)・扶助費(80億円増)・公債費(75億円減)と義務的経費が26億円減の1兆3,007億円、全体の46.0%、ジブリパーク、ステーションAi、新体育館などの投資的経費は173億円増の3,105億円、11.0%、税交付金等やコロナ関連、参議院選挙(32億円)、知事選挙(27億円)を含むその他経費は965億円の大増で1兆2,163億円、43.0%です。以下は新規事業等の超抜粋です。(12は東三河の振興、13は地方分権・行財政改革の推進です)

【令和4年度当初予算規模】		伸率(%)
一般会計	2兆8,275億余円	104.1
特別会計	1兆3,673億余円	101.2
企業会計	2,624億余円	111.4
合計	4兆4,573億余円	103.6



新型コロナウイルス感染症の克服

感染拡大防止や医療面での対策/県民生活への対策/経済面での対策

- コロナ用病床確保補助金(1,050億円)、看護職員人材確保支援事(0.4億円)、宿泊療養施設運営(150億円)、自宅療養者配食サービス(13億円)、ワクチン大規模集団接種会場運営(27億円)、PCR検査無料化(157億円)、県独自の医療従事者応援金・加算金(5億円)など…**感染拡大防止や医療面での対策**
- 妊産婦総合支援(0.5億円)、SNS等を活用した自殺防止相談体制強化(0.5億円)、県立高校SNS相談事業(0.04億円)など…**県民生活への対策**
- 中小・小規模企業の企業力強化支援【1,830億円】 中小企業への制度融資の限度額引き上げ・期間延長、パワーアップ資金にカーボンニュートラルを創設等(1,794億円)、新サービス・新製品開発や販路拡大支援(3億円)、商工会等が導入するキッチンカー補助など小規模事業経営支援事業費補助金(32億円)
- 商店街の活性化を強力に推進【7億円】 空き店舗活用まちづくり活性化事業(0.07億円)、げんき商店街推進事業に商店街の未来を拓くプロジェクトを新設等(5億円)、集客イベントなど商業振興事業費補助金(1.5億円)
- 雇用維持・確保対策を推進【2.9億円】 オンラインによる採用活動などのセミナーを実施する中小企業採用活動支援(0.09億円)、社会保険労務士等による労働相談等(0.09億円)
- 観光関連産業を支援【2月補正予算128億円全額繰越】 旅行代金の2割引(最大8千円)やクーポン(最大3千円)など新たなGoToトラベル事業をGW後から夏の繁忙期前まで実施予定など…**経済面での対策**

With/After コロナを見据えた成長戦略

《新時代を担う人材の発掘・育成…》

- ジブリパークの整備推進 11月1日の青春の丘、ジブリの大倉庫、どんどこ森の3エリアの開園及びもののけの里と魔女の谷エリアの整備推進(120億円 外に債務負担行為23億円)、愛・地球博記念公園の施設整備・周辺道路対策の推進(75億円 外に債務負担行為15億円)、県内の観光や飲食・特産品をPRするあいち市町村フェア(仮称)開催(0.5億円)、ジブリパークのある愛知をイメージした風になって遊ぼうなどジブリパークを活用した県内周遊観光の促進(1.4億円)
- STATION Aiプロジェクトの推進 2024年10月の開設を目指す昭和区に建設するステーションAi整備事業(18億円)、本県ゆかりの創業者などを展示する産業偉人展示施設整備検討調査費(0.1億円)、グローバルゲート名古屋内に設置したPRE-STATION Ai事業(2.5億円)、世界最高水準のアクセラレータープログラムの展開や新たにイスラエルなど海外機関・大学との連携等(4.5億円)、小中高生への起業家精神の育成やAichi Partner VCの認定等(1.2億円)、あいち農業イノベーションプロジェクト推進(0.82億円)、スタートアップ推進課に加え新たにイノベーション企画課を新設し両課を束ねる革新事業創造部を設置し体制を強化



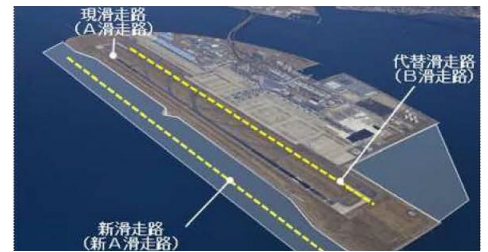
《人を呼び込むための社会インフラ整備と仕掛けづくり…》

- リニア中央新幹線の推進 リニアインパクトを広域へ名古屋駅のスーパーターミナル化推進【0.46億円】

STEP 21 県政 REPORT 2022R04



- **中部国際空港の将来構想の推進** 現空港用地内の代替滑走路と埋立地(約15年後)を活用する2段階整備の構想の実現【1.5億円】
- **国際展示場の最大限の活用** Aichi Sky Expo を活用した展示産業の振興【0.15億円】、国際観光都市と最先端技術・サービスの社会実装フィールドの**あいち・とこなめスーパーシティ構想**の推進【0.65億円】、今秋の**SDGs AICHI EXPO 2022**の開催(0.34億円)・・・SDGs 取組事例パンフレットの作成など**SDGsの達成に向けた取組**【0.67億円】
- **アジア競技大会の推進** 中国杭州での大会旗引継式(フラッグハンドオーバーセレモニー)など2026年開催のアジア競技大会の推進及びアジアパラ競技大会の開催に向けた協議【20億円 外に債務負担行為11億円】
- **新体育館の整備** 2025年夏オープンへPFIによる整備推進【6.7億円】
- **官民におけるDXの推進** 県行政の効率化・DX推進ほか、元気な愛知の市町村づくり補助金に補助メニュー追加(0.5億円)、中小・小規模企業のデジタル化・DX推進(0.64億円)、テレワークサポートセンターで機器貸出等中小企業のテレワーク導入支援(0.9億円)など【総額48億円】
- **カーボンニュートラルの実現** あいち地球温暖化防止戦略2030の改定等(2.1億円)、矢作川CNプロジェクト実現(0.1億円)、**Wood City あいち 2050**の策定など民間建築物での木造・木質化の取組(2.2億円)



1. 「リニア大交流圏」の形成

社会基盤の整備/交通・航空空港対策、港湾の整備

2. 産業首都あいち

ステーション Ai プロジェクトの推進/国際イノベーション都市あいちへの飛躍/次世代産業創出・育成/企業立地推進/中小企業・商店街等の振興

3. 農林水産業の振興

● 花き産出額59年連続日本一の花の王国あいちをPR【0.45億円】

4. 次代を創る教育・人づくり

教育立県あいち、人財創造あいち/グローバル人材の育成・獲得

5. 安心と支え合いの福祉・社会づくり

子ども・子育て支援/高齢者・地域福祉対策/障害者福祉・支援、ノーマライゼーション推進

6. 安心できる医療体制の構築

7. 誰もが活躍できる社会づくり

産業人材の育成・確保/女性の活躍促進/人権施策の推進/就職氷河期世代対策

8. あいちのグローバル展開

● あいち多文化共生推進プランの策定など多文化共生社会へ【2.8億円】

9. 選ばれる魅力的な地域づくり

ジブリパークの整備推進/文化・芸術都市あいち/スポーツ王国あいち/観光都市あいち/あいちの魅力発信

10. 安全・安心なあいち

地震・防災対策/交通安全/防犯対策/消費者の安心

● 愛知県基幹的広域防災拠点整備【41億円 外に債務負担行為1億円】

● 6月18、19日第17回**食育推進全国大会 in あいち**開催【0.7億円】

11. 環境首都あいちの推進

● **サーキュラーエコノミー***推進、プラごみ削減

食品ロス削減など循環型社会の形成など【3.5億円】

愛知県の温室効果ガスの排出量はGDP単位当たりでは全国第37位ですが日本一の産業県であることから全国最多です



● 市町村を対象にICT等の先端技術を活用した**スマートシティ**のモデル事業を公募・支援【0.3億円】

● 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会開催【0.65億円】

● 首都圏等IT企業の県内進出を支援する補助メニューやデジタル技術導入実証を支援する補助メニューの創設など産業空洞化対策減税基金事業【42億円】

● 35人学級を小学校第4学年に拡充、高学年の教科担任制の推進【21億円】

● 稲沢地区の新設校整備など県立高校の魅力化・特色化と再編を推進【5.2億円】

● ヤングケアラーの支援に向け社会全体の理解促進【0.06億円】

● 医療的ケア児支援センターを設置し医療的ケア児及びその家族を支援【0.5億円】

● がん患者のアピアランスケア支援(医療用ウィッグや乳房補整具の購入)を実施する市町村への補助【0.26億円】

● 国際芸術祭**あいち2022**を7月30日～10月10日に開催テーマは**STILL ALIVE** 今、を生き抜くアートのちから【11億円】

● NHK大河ドラマ**どうする** 武將観光【1.86億円】

● 愛知万博20周年記念事業(2025年3月25日～9月25日)【0.2億円】

● 消防団加入促進モデル事業(1市町村当



愛知県子育て応援マスコット・キャラクターはくみん

ギョーちゃん



STEP21



1872年11月27日に当時の愛知県(名古屋)と額田県が合併して現在の愛知県が誕生し150周年の節目に未来へ向けたジブリパークが開園。本県の歩みを振り返り多大な貢献をされた故豊田喜一郎様と故盛田昭夫様を名誉県民とする条例が成立。**未来へつづきまちづくりへ**一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**



*サーキュラーエコノミー: 製品の製造から消費・リサイクルまでの各段階で新たな資源の投入や廃棄物の発生を限りなくゼロにする経済モデル

愛知県新型コロナウイルス感染症

まん延防止・第6波の感染拡大の抑制に向け

まん延防止等 重点措置

愛知県全域 1月21日～2月13日

I. 県民の皆様へのお願い

① 不要不急の行動の自粛

○外出する場合は、**混雑した場所**や**感染リスクが高い場所**を避けて

② 県をまたぐ不要不急の移動自粛

○不要不急の**移動自粛**
○特に**まん延防止等重点措置の区域**

「愛知県まん延防止等重点措置」の対策

県民	①不要不急の行動の自粛	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて	
	②県をまたぐ不要不急の移動自粛	まん延防止等重点措置区域の適用都県への移動を控えて	
	③高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮	
	④基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない	
事業者	⑤飲食店等に対する営業時間短縮等の要請	措置区域	[認証店] 期間を通して①又は②を選択 ①5時～20時(酒類提供禁止) ②5時～21時(酒類11時～20時) [その他の店] 5時～20時(酒類提供禁止)
	⑥飲食店等以外に対する感染防止対策の要請	入場者の整理誘導、マスク着用の周知等	
	⑦業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検	
	⑧生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続	
	⑨テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進	
	⑩職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知	
その他県	⑪事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定	
	⑫イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント	収容率100%かつ人数上限20,000人
	⑬行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛	
	⑭学校等での対応	時差登校、分散登校の検討、対外的な練習試合等の自粛	
	○ワクチンの3回目接種の加速化	○あいスタ認証店の普及	

③ 高齢者等への感染拡大の防止

- 高齢者・基礎疾患**のある方に配慮
- 感染リスクの高い施設**を利用しない

④ 基本的な感染防止対策の徹底

- 感染しない・させない**
- 4人まででマスク会食**
- あいスタ認証店**や**安全・安心宣言施設**を利用
- 「**三つの密**」は**避けて**



Ⅱ. 事業者の皆様へのお願い

⑤-1 飲食店等に対する営業時間短縮等の要請

地域	措置区域	
期間	1月21日(金)～2月13日(日)	
対象	全ての飲食店等	
区分	あいスタ認証店	その他の店
内容	期間を通して、 以下の①又は②を選択 (当初の選択は変更できません) ① 5時～20時 (酒類提供禁止) ② 5時～21時 (酒類提供:11時～20時)	5時～20時 (酒類提供禁止)

⑤-2 時短要請に係る協力金

区分	あいスタ認証店 (以下の①又は②を選択)		その他の店
営業時間の短縮	① 5時～20時 (酒類提供禁止)	② 5時～21時 (酒類提供:11時～20時)	5時～20時 (酒類提供禁止)
協力金 (1店舗1日あたり)	【中小企業】 売上高に応じて 3～10万円	【中小企業】 売上高に応じて 2.5～7.5万円	【中小企業】 売上高に応じて 3～10万円
	【大企業】 売上高減少額の4割(最大20万円)		
主な要件	・あいスタ認証店の認証ステッカーを掲示		・「安全・安心宣言施設」のPRステッカーとポスターを掲示 ・業種別ガイドラインを遵守

⑥ 飲食店等以外に対する感染防止対策の要請

期間 1月21日(金)～2月13日(日)・24日間

主な対象施設 (1,000㎡超)	主な要請内容
劇場、観覧場、映画館、演芸場 等 集会場、公会堂 等 展示場、貸会議室、文化会館 等 ホテル又は旅館 (集会の用に供する部分)	<ul style="list-style-type: none"> ・入場をする者の整理等 ・入場をする者に対するマスクの着用の周知 ・感染防止措置を実施しない者の入場の禁止 ・会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置 ・入場整理等の実施状況をHP等を通じて周知
体育館、スケート場、水泳場、スポーツクラブ、ヨガスタジオ 等 博物館、美術館、科学館 等	
マージャン店、パチンコ屋 等 個室ビデオ店、射的場 等 スーパー銭湯、ネイルサロン等	
大規模小売店、ショッピングセンター等	
スーパー、コンビニ 等	

Ⅳ. 県の取組

- 感染不安を感じる無症状者等を対象に無料でPCR等検査を実施
- ワクチンの3回目接種を国、市町村、医療機関、医師会等関係団体、企業・大学等と緊密に連携し、希望者全てに円滑に推進
- 3回目接種の接種間隔を6か月に前倒すとともに、医療従事者等に対する接種券なしの接種を積極的に推進
- 飲食店等の感染防止対策の向上を図るため、あいスタ認証制度の普及

